



母子保健関係者対象セミナーのご案内

平成 30 年度

「母子保健指導者研修会」

公益財団法人母子衛生研究会

趣旨： わが国の母子保健は医師、保健師や助産師等母子保健関係者の努力により大きな成果を挙げてまいりましたが、近年、出生時体重の減少傾向、食生活の変化に起因する生活習慣病の問題、悲惨な子どもへの虐待など多岐にわたる課題も顕在化してきています。そこで、当会は正確で最新の母子保健情報の提供を行うことにより、母子保健の一層の向上に寄与すべく母子保健事業の関係者を対象に研修会を開催することと致します。

日時： 平成 30 年 10 月 18 日 (木) 13 : 00 ~ 16 : 05

会場： 青森県観光物産館アスパム 5 階あすなろ

(青森市安方 1-1-40)

対象： **母子保健関係者** (保健師・助産師・看護師・保育士・栄養士等) 120 名

受講： **無料**

主催： 公益財団法人母子衛生研究会

共催： JCRファーマ株式会社

後援： 厚生労働省、青森県、青森市、公益社団法人日本小児科医会、
公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本小児保健協会、
公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本看護協会、
公益社団法人日本助産師会、社会福祉法人日本保育協会、
一般社団法人日本保育保健協議会

プログラム

13:00 開会挨拶

13:05 講演「NICU 長期入院を必要とする低出生体重児と家族の支援」

埼玉医科大学総合医療センター新生児科 教授 加部一彦先生

14:15 質疑応答

14:25 休憩

14:40 「成長曲線を利用した乳幼児の成長評価」

弘前大学大学院医学研究科小児科学講座 助手 八木弘子先生

15:50 質疑応答

16:00 アンケート記入

16:05 閉会

※ご都合がつかない場合はどちらかの講演のみでもご参加頂けます。

※演題は変更になる場合があります。

会場案内

青森県観光物産館アスパム

青森市安方 1-1-40

JR 青森駅東口から徒歩で約 8 分。

(東口を出て左に進み、青森ベイブリッジをくぐると見えてくる三角形の建物です)



受講申し込み方法

いずれかの方法でお申込みください

A. HPの場合

下記URLより登録し、返信メールをプリントし当日ご持参ください。

「赤ちゃん&子育てインフォ」→「指導者のページ」 <http://www.mcfh.or.jp/shidousha/>

B. FAXの場合

受講券(裏面)を記入し、FAX番号 03-4334-1171まで送信してください。

当日は必ず受講券をご持参ください。

※定員を超え、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。
その他のご連絡及び受講券の送付はありません。

お問い合わせ先

(公財) 母子衛生研究会 地域事業課 TEL: 03-4334-1155 E-mail: semi_kanri@mcfhfs.jp

申込方法

- 「赤ちゃん&子育てインフォ」 (<http://www.mcfh.or.jp/shidousha/seminar/>) より登録してください。



または

- 本紙を記入後、FAXで送信してください。

F
A
X

0
3

注意事項

- ⚠ 開催当日、本紙を必ずお持ちください。受付にて回収致します。お持ち頂けない場合、ご入場頂けない場合があります。
- ⚠ 同伴者が同時に受付しない場合、各自コピーしてお持ちください。
- ⚠ 定員を超え、ご参加頂けない場合のみご連絡させていただきます。
- ⚠ 当会からの受講券の送付はありません。

平成30年10月18日（木）「母子保健指導者研修会」

青森会場受講券

4
3
3
4

1
1
7
1

勤務施設名	例) 「〇〇市健康増進課保健センター」, 「〇〇病院」, 「〇〇保育園」等		
ふりがな 担当者名	TEL	例) 03-4334-1155	
当日参加者及び職種（資格）			
ふりがな 参加者名	職種（資格）	ふりがな 参加者名	職種（資格）
例) 母子花子	例) 保健師	例) 母子太郎	例) 保育士
		合計	名

お問い合わせ先 (公財)母子衛生研究会 事業課 電話 03-4334-1155